



◆◆◆ 国際通貨研究所メールマガジン（第 58 号 2017/1/4 発行）

◆◆ ◆<<http://www.iima.or.jp/>>



＼1. 理事長 渡辺博史 コラム／

P to P

<<http://www.iima.or.jp/Docs/merumaga/2017/20170104watanabe.pdf>>

P to P という語が B to C などと並んで口にされるようになったのは数年前であった。Peer to Peer（訳は安定していないが、「同胞から同胞へ」というのが語義に近い…

＼2. 専務理事 倉内宗夫 コラム／

2017 年、日本のチャレンジ

<<http://www.iima.or.jp/Docs/merumaga/2017/20170104kurauchi.pdf>>

2017 年がいよいよスタートした。昨年の BREXIT、トランプの勝利、そしてボブディランがノーベル賞を受賞したのも”時代は変わった”ことの証左。もっとも英国の離…

■ホームページ 「IIMA の目」

短編コラム「IIMA の目」を、ホームページ最上部にて毎週初更新掲載しています。是非ご覧ください。

<<http://www.iima.or.jp/research/column/index.html>>

1. 「金融統計の大切さ」佐久間浩司
2. 「歴史的経緯を踏まえ安倍・プーチン領土交渉を読む」菅野哲夫
3. 「フィリピンの債券市場の概況」秋山文子

■IIMA Global Market Volatility Index・購買力平価グラフの更新

<<http://www.iima.or.jp/research/ppp/index.html>>

≪掲載内容≫

○IIMA Global Market Volatility Index

（グローバルな金融・資本市場のリスク度を表す指数）

○購買力平価グラフ

（ドル円）（ユーロドル）（ユーロ円）

■今月の新着レポート

1. 「金融危機以降のエマージング諸国を中心とするマネーフローの特徴と課題」佐久間浩司

http://www.iima.or.jp/Docs/report/2016/no2_2016_j.pdf

2000 年以降のエマージング諸国を巡るマネーフローに焦点を当て、クロスボーダーでの流出入以上に、エマージング諸国内で起きている与信の拡大の重要性を論じる。

■ 今月の IIMA

12 月は、中国の政府系のシンクタンクである社会科学院と、東アジアの統合をテーマにワークショップを開催しました。中国側が、社会科学院、北京・復旦大、外交学院など総勢 9 名、日本側が、東大、京大、日総研、国際通研など総勢 7 名、ADB 関係 3 名の議論しやすい規模でした。シンクタンク同士は、比較的言いたいことが言えます。朝からずっと一緒に会議をすると、夜の懇親会のころにはかなり打ち解けた仲になります。

トランプ政権、Brexit、習主席や安倍総理の目指すもの等々、双方が普段聞きたいと思っている質問を投げかけ、答えることもあればごまかすこともあり、でも終わる時は、ともかくお互い離れられない隣人だという共通の思いが残り、またやりましょうという空気のなかで別れました。今年もまた、様々な外部との交流を企画していきたいと思います。

■ お知らせ

当研究所前理事長の行天豊雄のコラムも引き続きお読み頂けます。

HP トップページの右サイドに掲載しておりますのでご覧下さい。

毎月 10 日前後に更新の予定です。

<http://www.iima.or.jp>

【バックナンバー】

<http://www.iima.or.jp/mailmagazine.html>

【次号】

2017 年 2 月 1 日配信予定

【メールマガジンの配信停止・配信先変更】

<https://m.entryform.jp/m/iima/>

【各種お問い合わせ】

admin@iima.or.jp

※閲覧には Adobe Reader が必要です。

Adobe Reader のダウンロードはこちらから

→<http://get.adobe.com/jp/reader/>

本メールは配信専用のアドレスからお送りしております。

返信をいただいても当方では受け取ることができません。

◆発行◆

公益財団法人 国際通貨研究所

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町 1-3-2 三菱東京 UFJ 銀行日本橋別館 12 階

[HP] <http://www.iima.or.jp>

Copyright (C) IIMA All Rights Reserved.